

代表機関	東北大学	プロジェクトリーダー	中澤 徹 東北大学 大学院医学系研究科 眼科学分野 教授
参画機関	(大学等) 立命館大学、東京大学、お茶の水女子大学、東北文化学園大学 (企業等) 第一生命保険株式会社、住友商事株式会社、イオン株式会社、ロート製薬株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、フォネスライフ株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、株式会社QDレーザ、株式会社トプコン、株式会社わかさ生活、参天製薬株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社、株式会社仙台放送、株式会社Lively Up、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社日本眼科医療センター、株式会社トーメコーポレーション、ジャパンソウル半導体株式会社、株式会社トラストメディカル、日東メディック株式会社、わかもと製薬株式会社、興和株式会社、株式会社キュートメディカルシステムズ、株式会社ハウディ、千寿製薬株式会社、エレコム株式会社、あっと株式会社、公益社団法人NEXT VISION、株式会社GameWith、Vixion株式会社、オムロンサイニックエクス株式会社、富谷市、仙台市、宮城県		

プロジェクトの概要

10～20年後の未来のありたい社会像は、「**次世代の子供たちに誇れる、誰もが人生のどのステージでも、共に暮らし、働き、遊べることで、主体的に生き生きと暮らせる社会**」である。我々は世界でも類のない「みえる」からはじまるエンパワーメントを特徴とした学際的なアプローチにより、グローバルな社会課題を世界に先駆けて解決しながら社会変革を推進していく。それにより、「みえる」を起点に様々な人の課題も解決する。具体的には、①**視覚障がい者**がテクノロジーなどを介して「みえる」ようになることで、自立して社会貢献し、QOLを高め人と社会とつながる、②**病気になるリスクを有する健康人**が、普段気付かない不調や悪化の兆候等が「みえる」ようになることで、将来の疾患を未然に防いでQOLを維持し、人と社会がつながる、③**不調が原因で行動制限がかかる人**が、行動変容の継続に必要なことが「みえる」ようになることで、自己のモチベーション向上と他者とのコミュニケーション促進を通じてQOLを高め、社会とつながる。このようにして、「みえる」からはじまるエンパワーメントは、誰に対しても外界・社会からの情報を最適に取得・活用することを可能とし、**人とつながりと自己実現**を達成させて**ダイバーシティにあふれるインクルージョン**を踏まえた、新たな社会を創造する最適解であると我々は考えている。

【ターゲット】

- (a) **ターゲット1：「できない」を「できる」にする情報格差ゼロ社会の設計**
情報格差ゼロ社会の設計を通じて、すべての人が受益者となるインクルーシブ・ユニバーサルな社会への変容を実現する
- (b) **ターゲット2：目から全身の健康を管理する「みらいをなおすヘルスケア」の確立**
疾患を未然に防ぎ、フレイル（虚弱・脆弱性）から遠ざけ、「どうしてもっと早く気付けなかったのか」と後悔する人がいなくなる仕組みを社会に実装する
- (c) **ターゲット3：身体機能拡張による自己実現とコミュニケーション変革**
エビデンスに基づいた効果的な動機付けを通じて、すべての人のモチベーション向上・コミュニケーション促進につながる、主体的な行動変容を起こす仕掛けを社会に実装する

